

今日のトピック 減速傾向が鮮明な米企業業績

10-12月期は大幅鈍化、1-3月期は減益の可能性

ポイント 10-12月期は大幅に伸びが鈍化

- 米企業の業績が急減速しています。調査会社リフィニティブによれば、9割超の企業が決算発表を終えた2月27日時点で、S&P500種株価指数に採用された企業の2018年10-12月期の純利益は前年同期比+16.6%となり、7-9月期の同+28.4%から大幅に伸びが鈍化しました。
- この背景には、中国や欧州の景気減速に加え、米中貿易摩擦の激化による関税引き上げやドル高などの影響があるとみられます。特に、売り上げが海外中心の企業で減速が目立っています。

今後の展開 1-3月期は11期ぶりに減益の可能性も

- 2019年1-3月期の業績は同▲1.0%と、2016年4-6月期以来、11期ぶりの減益が予想されています。中国や欧州景気の減速に伴う需要の減少、関税などのコスト増やドル高が引き続き収益を圧迫しそうです。
- 企業業績が減速する中でも、米株式市場は今年に入り、連邦準備制度理事会（FRB）議長が利上げ休止を示唆したことなどから大きく反発しました。2月26日時点のS&P500種指数の予想株価収益率は16.6倍と、割安感はありません。今後の米株式市場の上昇には、業績面での上方修正などが必要とみられます。

【S&P500採用企業の1株当たり予想利益】

(前年同期比、前年比、%)

セクター\年月期	2018		2019				2017 (実績)	2018 (予想)	2019 (予想)
	7-9月 (実績)	10-12月 (実績・予想)	1-3月 (予想)	4-6月 (予想)	7-9月 (予想)	10-12月 (予想)			
S&P500全体	28.4	16.6	▲ 1.0	3.3	3.0	9.4	12.8	23.7	4.1
一般消費財	25.4	16.4	▲ 2.2	6.6	9.6	14.1	6.9	21.1	7.7
生活必需品	11.4	4.7	▲ 2.2	1.4	3.2	5.1	6.7	10.6	2.2
エネルギー	114.2	81.2	▲ 14.8	▲ 10.6	▲ 17.4	▲ 12.3	346.6	96.7	▲ 11.1
金融	44.8	15.6	4.1	7.4	8.0	20.1	9.2	28.9	9.2
ヘルスケア	16.5	13.2	5.4	2.7	5.0	9.8	8.5	16.3	5.7
資本財・サービス	18.9	27.2	5.5	9.0	11.5	12.7	3.4	23.1	9.3
素材	30.1	4.1	▲ 12.7	▲ 4.9	0.5	8.1	16.1	24.8	▲ 1.3
不動産	5.3	6.2	2.5	2.9	4.1	6.2	1.9	4.9	3.8
情報技術	29.1	9.8	▲ 6.3	▲ 4.9	▲ 2.6	7.3	20.9	22.5	0.0
電気通信	26.1	26.3	▲ 5.3	17.7	1.4	3.8	▲ 0.2	25.5	3.9
公益事業	10.9	▲ 9.7	▲ 0.2	2.0	3.1	20.3	2.8	7.8	4.4

(注) データは2018年7-9月期～2019年10-12月期、2017年～2019年。予想はI/B/E/S（2019年2月27日発表）。

(出所) リフィニティブのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2019年2月21日 回復基調の米国株式市場
2019年2月14日 米国社債市場の動向（2019年2月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。